

議会改革の取り組み

令和5年11月13日（月）大磯町を視察

予算・決算特別委員会の審査方法及び事務事業評価についてどのような着眼点で審査しているか、議会として特に重点を置いているところなどを視察しました。大磯町では、審査における事務事業評価の活用など活発な質疑、議論、運営が行われています。



大磯町視察中

予算・決算特別委員会における審査方法の着眼点や議会として、執行部にどのような資料を要求しているかなどを伺いました。



大磯町議場にて

令和5年11月14日（火）開成町を視察

開成町では、日曜議会、議場の利活用、ごとも議会の開催、通年議会、一般質問の予告動画、議会専用ホームページの開設など、さ

さまざまな議会改革の取り組みを実施されています。



開成町視察中



開成町議場にて

視察を終えて

大磯町と開成町では、議会改革を積極的に取り組まれています。大磯町では議会改革に力を入れてきたことにより、活発な議論がなされていきました。開成町の通年議会・日曜議会・議会報告会などの改革も、とても参考になりました。須恵町でも、課題解決に向けて、問題意識を持ち、審議の充実・向上に努力していきたいと思えます。



開成町議会のホームページ

議会改革を引き継いで

これまで、議会運営委員会の中で議会改革に取り組んできましたが、幅広い意見を交わしながら改革を推進するために、新たに9月定例会において「議会改革調査特別委員会」を設置しました。

委員長	委員	委員	委員
男澤 一夫	今村 桂子	百田 輝子	稲永 辰己
副委員長	委員	委員	委員
田ノ上 真	白永 春夫	平山 諭	

はつめい

二元代表制の一翼を担う議会には、執行機関に対する監視機能、議事機関としての政策形成機能、および町政の最終決定機関としての議決責任が存在します。それとともに、町民に対しての説明責任を果たすことが求められます。

当委員会は、議会運営委員会から議会改革の事務を引き継ぎ、より的確に議会の機能を発揮していくため、議会運営のあり方や議員規範の見直しおよび活性化を進めてまいります。

今後の取り組み

このところ全国の町村議会は、課題が山積しています。報道などでも話題になるのは、議員のなり手不足、若手・女性の比率、不祥事の頻発、低調な議論、執行部への追従、町民との遊離などがあげられます。このうちのいくつかは、近い将来もしくは現時点においても須恵町が直面する課題です。この諸課題に対応するために、議会から改革していく必要があります。まずは、議会運営につき、審査機能を高めていきます。そして、町民の皆さまへの発信のあり方について、調査・検討をしてまいります。主に、以下の事項について進めます。

- ① 予算審査（当初・補正）の機能向上について

これまでの議会改革（主なもの）

- ② 決算審査の機能向上について
  - ③ 日曜議会の開催について
  - ④ 議会報告会について
  - ⑤ 通年議会について
  - ⑥ 議会だよりの配布方式について
  - ⑦ 議会基本条例の制定を図ってまいります。
- 当町議会は、近年もさまざまな議会改革を推進してまいりました。
- 平成30年5月 ペーパーレス議会に移行（タブレット化）
  - 令和4年3月 長期欠席議員の取り扱いについて条例を制定
  - 令和4年3月 議員定数を13に削減
  - 令和5年9月 本会議の映像配信（ライブ・録画）

令和5年12月 一般質問を一問一答方式に



タブレットの活用について他議会が視察来庁



映像配信は町のホームページから